

今号の主な内容

新年のご挨拶を申し上げます。	1
公益財団法人人材育成ゆふいん財団 役員 財団ニュースは皆様からの情報を募集します。	
【特集】平成24年度 ふれあい学習事業	2,3
「見よう!知ろう!遊ぼう!大分川!!」大分川河川環境学習会 がんばっています!	4
くぬぎの学校・「広葉樹で木工体験」	
ゆふいん財団掲示板	4

[発行日] 2013年1月1日
 [発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団
 [発行人] 溝口薫平
 [編集責任者] 霜野圭一
 [編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所/湯布院町川上2863
 TEL/85-4748 FAX/85-4759
 E-mail : info@yufuin-zaidan.jp
 H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp

新年のご挨拶を申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

皆様に、次第にご理解いただき、可愛がられながら、財団は発足20周年を迎え、新しいスタートがはじまりました。また、理事長をはじめ事務局方のご苦労により、公益財団法人となりました。

さて、長年、スポーツ大好き、芸術全般日々是学習(のつもり)を自認する私にとって、申請された助成や顕彰の審査・選定は、とても他人事と思えず、その度に頭を痛めてしまいます。ただ、ほぼ全会一致で決定した後、漏れた方の申請事項について、理事長の「次回、また違った形で申請があれば・・・」のつぶやきに、全員でうなづき合う温情溢れる光景に、救われた気がするのは私だけでしょうか。

ゆるる政局、氷点下の経済、岐路に立つ原発、未だ手探りの少子化、オーバーホール待ちの高齢化等々、満身創痍のこの国の行方を憂いて、あちこちで立ち上がる人達。ようやくさしかかったこの潮目が、彼の時のような幻影でないことを願うばかりです。

ともあれ、日々進化を続ける財団の一員として、木綿の会の一層の盛り上がりの後押ししつつ、微力ながら個性を以って尽力をと、心新たに作る今日この頃です。

人材育成ゆふいん財団理事

麻生 時寿



公益財団法人 人材育成ゆふいん財団 役員

<理事長>	<常務理事>
溝口 薫平	霜野 圭一
<理事>	
麻生 時寿	高倉 忠雄
阿部 哲哉	田中 明美
岩尾 豊文	時松 辰夫
大島 喜久枝	利光 恵子
金子 裕次	峰 親則
木戸 浩久	
<監事>	
太田 正美	中谷 次郎
<評議員>	
阿部 尚志	田代 教二
衛藤 文和	松村 真知子
河野 雄一	溝口 裕二

財団ニュースでは皆様からの情報を募集します。

○財団ニュースでは以下のような人や取り組む活動、学びに関する特集をしていきます。

「ゆふいん元気！」

・ゆふいんで活動している人やグループの取り組みをご紹介します。

「ゆふいんtopic」

・ゆふいんで、今最も旬な話題をご紹介します。

「0歳から100歳までの「ゆふいんの学び」」

・民間が行う学習の機会や勉強会を取材・ご紹介します。

「ゆふいんあの人・この人」

・ゆふいんの名人、達人を取材・ご紹介します。

「がんばっています！」

・長年努力されている方、新たに取り組みを始めた方など、とにかくがんばっている人を取材・ご紹介します。

「私も会員です！」

・ゆふいん財団の会員の方をご紹介します。

【特集】平成24年度 ふれあい学習事業

「見よう！知ろう！遊ぼう！大分川！！」大分川河川環境学習会

平成24年度のふれあい学習事業では、大分川を舞台にして、川に触れ、川遊びをしながら、川に親しむことを目的に河川環境学習会を行いました。大分川の上流である金鱗湖や男池の湧水を見に行き、楽しく遊びながら自然環境を知り、また、私たちの身近な川である「大分川」につい

て学び、川遊びや水中生物の観察をしました。その学習会の様子を特集します。詳しくはホームページでも公開しています。



カチッ!

ゆふいん財団

第1弾・10月「大分川の上流の金鱗湖に行こう」／平成24年10月8日（月／祝日・体育の日）

大分川の上流の金鱗湖に行き、外来生物や、世界で湯布院にしか生息していないオンセンミズゴマツボのお話を聞きました。また、ゲームや水の調査をして、その特徴を体

験。金鱗湖に棲む魚、水のお話をしながら、みんなで昼食を食べました。昼食後は自由行動。グループに分かれて釣りをしたり、生物をつかまえて観察をしました。



1 天祖神社で湧水の温度調査（温度当てクイズ）。金鱗湖について講師の土師さんのお話を聞きました。また、湧水の特徴について講師の浦松さんのお話を聞きました。

2 下ん湯へ移動して再び温度調査。天祖神社地点より、温度が上がっていることを発見。そして由布市環境課の森山さんからオンセンミズゴマツボのお話を聞きました。

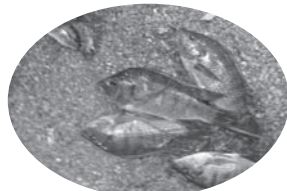


3 下ん湯からオンセンミズゴマツボが生息する水路まで移動し、再び温度調査をしました。

4 金鱗湖を散策して一周し、再び天祖神社まで移動。金鱗湖に棲む水生生物について話し合い、分類をしました。生息エリア（浅いところ、深いところ）について話し合い、その生物の特徴について講師の土師さんと指原さんのお話を聞きました。分類が完了したら、外来生物として金鱗湖に生息するティラピアの話を聞き、ティラピアを観察しました。



5 外来生物について詳しくお話を聞いた後に、外来種ゲームのスタート。外来生物のティラピア君と笠をかぶった在来種による生息エリアの陣取り合戦がはじまります。外来種は片足と両手で、在来種は片足片手で、生息エリアを奪い合っています。やがて外来種がとても強いことに子ども達は気づいていきます。



6 そして昼食後、お楽しみの釣り体験・生物観察の時間がやってきました。投げ釣り・リール班と竿・ばくだん釣り班のグループに分かれて開始。投げ釣り・リール班は2匹、竿・ばくだん釣り班0匹という結果。前もって観察用に捕獲した5匹を含め、結果的に計7匹の外来生物の駆除を行いました。

第2弾・11月「大分川の上流の男池に行こう！」／平成24年11月10日（土）

大分川の上流の男池に行き、周辺を散策し、湧水を見に出かけました。川を見て、いろいろな場所で水を観察し、周辺の山や自然環境につ

いてのお話を聞きました。最後に白水鉱泉に立ち寄り、炭酸水を飲みました。豊かな水と自然環境をいっぱい感じてきました。



湯布院庁舎からバスに乗って約1時間で男池に到着。講師の浦松さんと恒吉さんが紹介されました。最初に、男池周辺の山々や自然公園区域についてのお話を聞きました。

周辺の自然の豊かさを知ったところで散策、登山の開始です。自然の散策路へ入り、土の舗装の散策路に子ども達が見え、フワフワ感を感じます。気持ちの良い散策路です。



現在の気温を確認しました。11月に入ったので冬の気候です。散策の途中にある樹木を見ていきます。

途中の河川に到着。その後、河川に手をつけて我慢くらべです。みんな頑張って1分以上はつけたままでいられました。その後、川の水温を当ててみます。そして先ほど感じた気温と水温のどちらが高いかを考えます。大自然から流れ出す湧水。とても水温が低いことに皆が気づいていきます。実際に水温計で温度も計ってみました。



湧水に到着。環境庁の「日本名水100選」にも選定されている、原生林の中で湧く名水です。まずはその水を飲んでみました。雨が山に降り注ぎ、土に染み込んでようやく湧いてくる、その仕組みを分かりやすく絵にしたパネルを見て、さらに詳しく学びました。

少し高台にある上の台までちょっとした登山。途中、岩の上から生えている大きな木を発見します。子どもたちが驚きの表情を見せる中、どうしてこのように木が生えているかについてお話を聞きました。また、森の役割や落ち葉・土についてのお話がありました。



2人がペアになって「私の木」という体験プログラムに挑戦。一人が目隠しをして、もう一人がその人の「私の木」になるところまで案内。目隠しをされたほうは、その木を触りながら、特徴をおぼえていきます。少し離れて目隠しをとって、木の肌や枝つき、根のはり方を思い出しながら、先ほどの「私の木」を探していきます。

各自の「私の木」が決まりました。聴診器を使ってみます。木の幹の中を流れる水の音、木が水を吸い上げる音を聴いてみました。そして「私の木」の下で寝転がってみます。落ち葉をかぶると、寒さをしのげます。何人か元気の良い子どもたちが落ち葉を毛布のようにかぶっていました。

「目」のある木をバックにして記念撮影。木や自然が自分たちのように生きていることを実感できた、そういった時間でした。そして帰りで白水鉱泉に立ち寄りました。湧水に炭酸ガスが入った発泡性の炭酸水を飲んでみました。

**がんばって
います！
【特集】**

**公益目的事業 1-③ 人材育成活性化のための調査研究事業(起業家支援事業)
くぬぎの学校・里山資源の商品開発に取り組むスタッフが
木工体験を開催しています！「広葉樹で木工体験」**

"木もいいですよ"と語りかけてくれるヒトを見守りたい。そうした思いから、ゆふいん財団では木工芸の職人を育成する"くぬぎの学校"を運営しています。里山資源を活かした若手の木工芸の職人を育成し、その夢を応援しています。

その研修職人の成田祥二さんと豊田豪史さんが、大分県の森林環境税を活用して、"森からのメッセージ・森からのおくりもの"と題して、箸置き製作・プレゼントと木工の

体験教室を企画しました。木を通じて森や環境の素晴らしさや大切さを知ってもらおうと、1月・2月には、広葉樹を活用したペン立てや果物フォークを作る教室を開催します。今回は、研修職人の成田祥二さんが、広葉樹についての想いをつづったメッセージを掲載します。(次号は、研修職人・豊田豪史さんのメッセージと箸置き卒業製作について特集します。)

"広葉樹"について

今、森では人の手により植えられた"針葉樹"を間伐し、そのあと"広葉樹"を混ぜながら植える動きがあります。さまざまな種類の木を混ぜながら植えることで(混合林)、森や山はより豊かになります。

"広葉樹"は横に枝や葉、根をはり、たくさんの光を受け、ゆっくりと時間をかけて成長していきます。"針葉樹"とくらべると比重が重く、木目が個性的で美しいのが特徴です。その美しい木目は、家具や部屋の内装、木工芸品にカタチをかえ、"木のぬくもり"をとおして、私たちの生活に潤いを与えてくれます。

(くぬぎの学校・成田祥二)



広葉樹で木工体験

体験日：電話にてお問い合わせ下さい
(定休日 水・木)

場所：Space ここの

受付時間：10～15時

所要時間：1～2時間

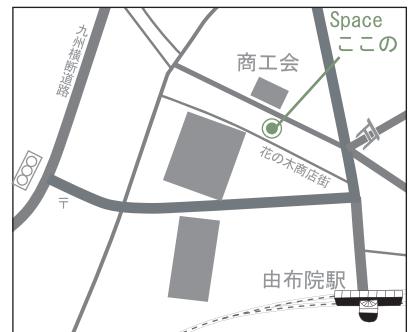
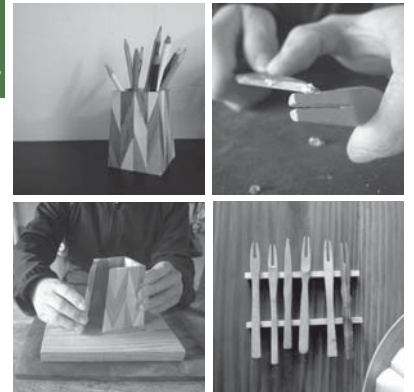
定員：8名程度同時に作業できます

体験料：500円/個

(森林環境税の活用による1月、2月の事業期間のみ)

問合せ先：電話 0977-51-4742

- 小刀やサンドペーパーを使います
(小学校低学年から参加できます)
- 作った作品はお持ち帰りいただけます
- 人数が多い場合は一度お電話ください
- 出張体験教室も可能です



INFORMATION

人材育成ゆふいん財団 掲示板

(1) 平成24年度市民実践活動への助成・顕彰事業が決定しました。

☆人づくり部門 「第1・第2ゆふいん児童クラブ」

【プロジェクト名】ゆふいん児童クラブ築1周年お披露目感謝祭
・平成24年10月13日(土)にゆふいん児童クラブ築1周年お披露目感謝祭が開催されました。その感謝祭で行われたカプラワークショップの講師謝金や旅費、カプラ送料にかかる直接経費(139,000円)について助成をします。

☆文化活動部門 「塚原の自然と明日を語る会」

【プロジェクト名】早見豊陽著「塚原郷土史」現代語訳出版事業
・明治末期に、当時の法光寺(塚原)住職であった早見豊陽氏が著した「塚原郷土史」の現代語訳出版にかかる印刷製本費(150,000円)について助成をします。

(2) 国際交流事業からのお願い(公募)

ホームステイのホストファミリーを募集します

・2月23日(土)、24日(日)の2日間、韓国・水原市青少年育成財団の交流団が湯布院を訪れ、湯布院や日本の生活を学びにやって来ます。
・韓国・水原市からの使節団の子どもたち(中学生と高校生・総勢11名の予定)のホームステイのホストファミリーを募集します。2日間の夕食・朝食と宿泊の受け入れをしていただける方はゆふいん財団までご連絡下さい。

(規程による謝金をお支払します)

お問い合わせ：85-4748：担当 大澤まで

編集後記

新しい年がスタートしました。師走の業務を急ピッチでこなし、昨年1年を振り返っていたら、その後すぐに新年がやってきた...そんな年末年始でした。それでも、家族で初詣に出かけて気分一新! 気合いが入りました。今年もがんばっていきますのでご支援よろしくお願ひ致します。(事務局・大澤直彦)

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します



URL <http://www.oitamirai.co.jp/>